

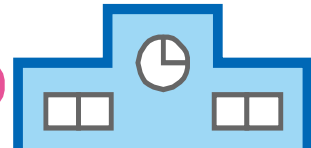


小田原市教育委員会

第25号

令和5年3月1日発行
編集・発行 教育総務課

まごころ通信



教 育 長 コ ラ ム

一 期 一 会

最近、あいさつの中で、一期一会という言葉を使わせていただいています。

一期一会とは、茶道に由来する日本のことわざです。茶道にのぞむ際には、その機会は二度と繰り返されることのない、一生に一度の出会いであるということを心得て、亭主・客、共に互いに誠意を尽くすこと。また、その心構えを意味するものです。

別の見方をすれば、人と人との出会いを大切に、関わりを大切にすること。出会った者同士が、互いの良さを共感的に理解し、自己をみがき、共にみがき合い高め合うことだと思います。

一期一会の考え方は、人との関わり（学び合う授業）を教育の基本とし、学級・学校経営に取り組んできた私にとってとても大切な教えです。

この考えは、日々の授業を中心とした学級経営には特に重要な教えであり、基本であると思います。

これを日々の授業（聴くこと）に当てはめると、友達の考えを聴くときには、自分の考えを一度心の奥にふせておいて、じっくり耳を傾け、しっかりと聴き

取り共感的に理解する。その上で、自分の考えと比べることで、考えを深めたり、確信を持ったり、あるいは軌道修正して新しい自分の考えを創り上げたりしていくことだと思います。つまり、話を聴くこと（人と関わること）は、新しい自分、成長した自分を創ることなのです。

聴く耳を大切に、他者と関わることで自分の力、成長を自分自身で創り出す。また、さらに高い目標に向かって他者との関わりを大切に、学び合い切磋琢磨することで共に成長していく。今の子どもたちに最も必要な社会力、生きる力を育む基本となるもので、これらの力を育むベースとなるものが、一期一会の心だと思うのです。

一期一会の心を大切に、日々の授業を中心に子どもたちと関わり対話することで、真の成長を支援することができる教師でありたいものです。

小田原市教育委員会教育長

柳下正祐



4月1日から変わります

学校におけるマスクの着用について

4月1日からは教育活動でのマスク着用は求めないことを基本とします。



●卒業式の対応

卒業生については、国歌・校歌などの斉唱や合唱などを行う時を除きマスクの着用を求めないこととします。



部活動の在り方について

小田原市は検討を進めています



部活動の地域移行については、市民の方から「費用負担が増えそう…」「他の場所で活動するための移動が心配…」「大会やコンクールは、今後どうなるの？」などの声が寄せられています。



小田原市はどうするのか!?

小田原市では、子どもたちが部活動を通してスポーツや文化芸術活動に参加することは教育的に大きな意義があると捉えています。そこで、当面の間は、**これまでの部活動（各学校が設置している部活動ごとの活動）を維持・継続**しながら、市教育委員会としては、部活動指導員や地域指導者の派遣により、指導内容の充実を目指します。また、学校と協力・連携しながら、合同部活動（※1）や拠点校部活動（※2）等についても検討を進め、**小田原らしい持続可能な部活動の在り方**について検討していきます。今後は、子どもたちやその保護者の皆様のご意見も伺っていきたいと考えています。

※1 部員数が少なく十分な活動ができない場合や専門的な指導ができる顧問等がない場合、近隣の学校同士が合同で部活動を実施します。

※2 ある種目について、一つの学校を拠点校として定め、参加を希望する生徒を集めて活動を行います。

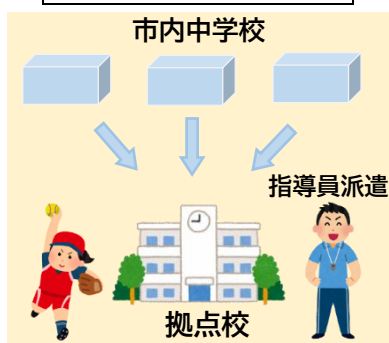
<国の方針>

国のガイドラインでは、少子化が進む中、将来にわたり子供たちがスポーツ・文化芸術活動に継続して親しむことができる機会を確保するために、部活動改革に取り組む必要があることが示されています。そのため、令和5年度から改革推進期間とし、学校や地域の実態に応じて、地域連携を図っていくことが求められています。



国の考える学校や地域の実態に応じた地域連携とは（例えばこんなこと…）

拠点校による部活動(例)



近隣校による合同部活動(例)



休日部活動を地域移行(例)



地域・民間団体等との連携

お問い合わせは教育指導課（☎0465—33—1684）まで